

- 日 時 令和3年6月22日(火) 15:40~16:55
- 出席者 会長(学識経験者)、副会長(高大連携大学)、保護者代表、
地域住民代表者、その他学校関係団体代表者
事務局(校長、教頭、事務長、首席、教務部長、進路指導部長、生徒指導部長、特別活動部長、)
- 内 容
- 1 校長挨拶
 - 2 委員紹介及び会長・副会長選出
 - 3 会長挨拶
 - 4 学校報告
 - ア) 学校運営協議会への意見書の提出
令和3年1月23日より令和3年6月21日まで なし
 - イ) 学校経営計画
 - ウ) 教務部 教育課程、令和3年度行事予定
 - エ) 進路指導部 12期生の進路報告
 - オ) 生徒指導部 遅刻数統計、声掛け、指導の統一化
 - カ) 特別活動部 行事、部活動、外部連携、生徒会執行部
 - キ) 共生推進教室 校内体制、取組み、行事報告
 - 5 質疑応答・意見交換
 - 6 校長謝辞
 - 7 諸連絡

<質疑応答・意見交換> ○は委員からのコメント ⇒は事務局のコメント

*生徒指導について

○診断の出ている生徒が学校に来れるようになったと聞いて安心した。

*進路指導について

○看護系進学者が増えたこと、進学実績が伸びたのはなぜか？工夫は？

○12期生の進路、3学期の出席状況がどう関係しているか？

⇒看護系が増えた理由は分からない。コロナの関係で急増したとは思わない。

進路実績が伸びたのは、不安な生徒に3月まで見通せば大丈夫、第一志望にこだわってほしい
と言い続けたこと。校内模試が外部でできない分、校内での模試の回数を増やした。今年は浪
人生が少なく、現役生有利になっていた。併願をたくさん受けた。

*地域連携について

○ボランティアの人材は溢れているが、コロナ禍で活動場所が減っている。交流していくための入り口は？

⇒外部の方からのお誘いが体験学習の入り口。

今年度は大阪観光局の方からの紹介で台湾 WEB 交流を行った。第2回、3回へとつなげたい。

○体験学習の重要性がいわれているが、何か取組みは行っているか？

⇒本校では福祉の授業で車いす体験を行っている。千里中央まで移動し、スターバックス、コンビニで買い物をした際、「物理的障壁がある」「人目が気になる」という感想があった。

○高校生が地域へ出向く機会を少しでも多く作ってほしい。コミュニケーションの大切さを知ったり、動画作成などで力を発揮してもらったりすると、自己有用感を育むことにもつながる。

*タブレット配布について

○タブレット一人一台を今後どのように活用するか？研修をどのようにするか？

○授業以外で一日2~3回見るようにする。担当がHRでしているような連絡をする。

⇒ICT活用推進委員会の教員中心に進める。GIGAスクールサポーターの派遣がある。

10年目研修対象者に課題を出して取り組む。ロイロノートの研修を教員に行った。

コロナなどの自宅待機生徒へGoogle Classroomを使い、課題配布を行う。